

令和7年度 第1回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 令和7年7月14日（月） 午後1時30分～2時30分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 中央生涯学習センター 5階
- 3 出席委員 宇都宮市社会教育委員 定員20名のうち16名
河田委員長，中塚副委員長，岡村委員，二宮委員，青木委員，今井委員，佐藤委員，
小林委員，松本委員，福田委員，小松委員，齋藤委員，鈴木委員，佐々木委員，
増淵委員，矢古宇委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 内 容
 1. 開会
 2. 教育長あいさつ
 3. 委員紹介
 4. 宇都宮市社会教育委員について
事務局から宇都宮市社会教育委員の職務などについて説明
 5. 議事
正副委員長の選出
互選により，委員長に河田委員，副委員長に中塚委員が選任

河田委員長

様々な会議に出席しておりますが、必ず話題に上がるのが社会教育，地域教育です。いかに今，社会教育に関するこの会議が重要なポジションにあるのかということ，つくづく感じております。

戦後80年となりますが、歴史を調べると，地域が壊れてしまった終戦直後の時代には，社会教育委員が非常に活躍していたとあります。しかしながらその頃の時代と比べ，現代における社会教育委員の役割や必要性は大きく変化しました。

今の社会教育は，地域，家庭，学校という三者が，もっと協働して進めていかななくては，子ども達を守れないように思います。委員の皆様から貴重なご意見を頂戴しながら，素晴らしい社会教育委員の会議にしたいと思っておりますので，どうぞご協力をお願いいたします。

中塚副委員長

先ほど副委員長に選出をいただきました。宇都宮市議会議員中塚英範でございます。河田委員長の補佐をしながら，円滑な議事進行に務めて参りたいと思っておりますので，皆様のご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

【報告事項】

(1) 令和6年度「第3次宇都宮市地域教育推進計画」後期計画の実績評価について 事務局から資料に基づき説明

河田委員長	ありがとうございました。報告事項(1)について説明いただきました。皆様から御意見、御質問等ありましたらお願いします。
佐々木委員	基本目標Ⅰについて順調とのことですが、計画より遅れている事業として、17ページに「子どもの体験活動・体験学習機会の充実」の記載があります。小学校4～6年生を対象にした職業体験ということですが、どのような点で計画より遅れているか教えてください。
事務局	こちらは小学生の職業体験である「宮っこトライ」の参加人数を評価指標としており、この事業は現在、160社ほどの事業者と協力いただきながら通年で開催しているものです。「計画より遅れ」となった要因としては、子ども側は土日や長期休みでの参加を希望しているものの、業者側は特に接客業などが繁忙期となるために受入れ枠が少なくなっており、需要と供給のバランスが合わないことだと考えています。引き続き、協力事業者の更なる確保などに取り組んでまいります。
佐々木委員	ありがとうございます。
河田委員長	他にも御意見、御質問がございましたら、お願いします。
福田委員	基本目標Ⅱに関連して、地域未来会議は全校で実施されているという理解でよろしいでしょうか。この成果はモデル事業とか予算措置をしていただいたおかげかと思いますが、今後もバックアップを継続していただけると良いと思います。
事務局	地域未来会議について、令和6年度においては全校で実施しており、今年度も実施に向け、地域協議会を中心に調整を進めているところです。地域未来塾についても25校すべての中学校で実施を予定しておりますが、万が一実施が困難な学校があった場合は生涯学習課での支援を検討してまいります。
福田委員	ありがとうございます。是非、よろしくお願いいたします。
河田委員長	他にも御意見、御質問がございましたら、お願いします。
中塚委員	基本目標Ⅱ、家庭教育支援の推進、アウトリーチ型家庭教育支援の相談件数について、今後の取組として学校との連携ということですが、子ども食堂をはじめとした子どもの居場所づくりや、子ども学習支援などについては、民間団体等の連携などを通して、アウトリーチをしっかりと進めていくのが良いのではないのでしょうか。

事務局 民間団体等との連携については現在検討中ですが、子育てサロンや保育園などに声をかけ、行事の後に相談できるような時間を確保いただけないかということを検討している状況でございます。

福田委員 ありがとうございます。私も少し子ども食堂や居場所づくりに関わっておりまして、こういうような相談を逆に受けたりしておりますので、ここから窓口などに繋がっていくこともできると思いますので、ぜひ積極的なアプローチをよろしくお願ひします。

河田委員長 計画全体の評価についてご説明いただきましたが、達成率が90%を超えているとあります。計画の進捗が順調であることは分かりますが、この数値について、どのような基準で90%という評価になったのでしょうか。また、目標値の設定に関する全体的な考えと、この評価結果についてどう考えているのか教えてください。

事務局 目標値は、コロナ禍であった令和3年度の実績をベースとして、令和9年度に達成すべき目標値と各年度の間目標値を設定したものです。目標値を設定した当時と現在とでは、社会的な状況が異なっている部分もありますが、前年度と比較しても数値が向上している事業がほとんどでございます。今後とも、評価結果に満足せずに創意工夫しながら各種施策に取り組んでまいります。

河田委員長 ありがとうございます。令和3年度の基準から90%の評価、ということで、まだまだやることはたくさんあるということだと思います。

例えば、図書館の利用率はそんなに良くないという状況がありますが、これは突き詰めると、活字を読む機会が減っている、実際の本を手を持つことがなくなっているということであると思います。是非、図書館に来て図書館の本と出合って、関心を持ってほしいと思います。

【協議事項】

(1) 令和7年度栃木県社会教育委員協議会理事及び評議員の選出について

河田委員長を選出

(2) 「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について

鈴木委員を推薦

河田委員長 協議事項(1)「令和7年度栃木県社会教育委員協議会理事及び評議員の選出について」、協議事項(2)「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について、事務局から説明と事務局案の提案がありました。

これにつきましてご異議ございませんでしょうか。

【異議なし】

河田委員長

ありがとうございます。

この件につきましては以上といたします。

【その他】

(1) 「宇都宮市電子図書館」児童書読み放題パックの導入について

(2) 令和8年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの開催概要について

(3) 今後のスケジュールについて

事務局から資料に基づき説明

河田委員長

ありがとうございました。三つの項目についての説明が終わりました。皆様から何かご質問等がありましたらどうぞ。

小林委員

「宇都宮市電子図書館」児童書読み放題パックのアカウント配布について、こちらに市立小学校の4年生から中学校3年生までの児童生徒とありますが、市立小中学校以外の、県立、私立の小中学校の児童生徒の皆さんには配付されないでしょうか。

事務局

今回は事業の開始にあたり、まず市立小中学校にアカウントを一斉配付したところですが、私立・県立の小中学校の児童生徒についても、アカウントの配付が可能です。今後、各学校からの要望に応じて、個別にアカウントを配付する予定です。

河田委員長

ありがとうございました。他に御意見、御質問がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは以上を持ちまして議事を終了いたします。

それでは事務局に進行をお返しします。よろしく願いいたします。

事務局

本日は、河田委員長をはじめ、委員の皆様におかれましては、円滑なご審議をいただき、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度第1回社会教育委員の会議を閉会いたします。